

## 「 縄文時代の女性へのあこがれ 」

ウィルあいち交流ネット参加グループ

ホツマツタエという縄文時代の歴史を紐解く文献を読んでいます。そこには高度な精神文化が息づいていて驚かされます。言葉によって心と体を健康にする知恵が生きていました。心には「こころは」「みやび」「たま」「しい」「しむ」という5つの機能があると説明されています。「こころは」とは思考のこと。「みやび」とは感情のこと。「たま」とは仏性。「しい」とは自我。「しむ」とは煩悩です。言葉を整えることを通して5つの心を整える習慣を日本の民として身につけようとしていたのです。

現代人は科学の発達によって便利で自由な生活を送っていると思われていますが、縄文人は不思議なくらい、海だろうが深い山だろうが自由に日本中を駆け巡っています。そして、和歌をつかってイナゴを祓い、和歌によって海の嵐を止めたりします。和歌で調和した世界を創出していたのです。

和歌によって恋しい男性を夫とする術を身に付けてもいました。平安時代のお話ではありません。縄文時代の日本のお話です。

その時代に生きた多くの女性が「神（上）」として今でも祀られています。神社の祭神というのは、会社の社長、一家の長といってもいいと思うのです。女性が女性として自由に生きて周囲の人たちに信頼され、頼りにされていたのです。素晴らしいと思います。

私は、多世代シェアハウスを造りたいと常々思い活動していますが、それは本来人間が持つ心の5つの機能を取りもどすことにつながるのではないかなと思うからです。調和した言葉を掛けあってコミュニケーションをとることが大切です。心を健康にすることで内臓も骨格もつよくなり、それが子どもも大人もシニアにとっても楽しく心豊かに

生きるための土台になってくれると思うのです。



なでしこAICHI 久田貴子

- \*さわらび会
- \*メンズリブ名古屋
- \*ア・コール
- \*女性学'98の会
- \*IPA
- \*メディアの会かたつむり
- \*ウィル10
- \*A・B・C・Net
- \*C・C・C
- \*グループ・キートス
- \*クラリネット'99
- \*2000女性学の会
- \*ウィル2000
- \*I. W. L
- \*ウィル・ミニ・ボックス
- \*ウィルD o 2002
- \*平成いちご会
- \*きらら2005
- \*サーティネット '05
- \*ベリーズ18
- \*Step07
- \*トライアングル '08
- \*まちづくりファシリテーター勉強会
- \*Fem.'09
- \*Amelie' 10
- \*なでしこAICHI
- \*きりり24
- \*AIC25
- \*ウィルウィル14

ウィルあいち交流ネットとは…

ウィルあいちセミナー等の受講修了生による自主活動グループで組織された団体です。



## 共同参画 NATOでの勤務 (1)

昨年12月、北大西洋条約機構（NATO）に派遣されてから約5カ月が経ちました。「女性・平和・安全保障担当NATO事務総長特別代表」のアドバイザーとしての勤務は想像以上に新鮮で、学ぶことの多い日々です。今回から、「女性・平和・安全保障」や「ジェンダー」の分野におけるNATOの取組みや印象等についてお伝えしていきます。

筆者は陸上自衛官ですが、現在はNATO本部の国際事務局という文民組織に所属し、制服からスーツに着替えての勤務です。NATOは巨大な組織で、ブリュッセルにあるNATO本部、その隷下の各コマンド、そしてNATOの作戦を行う各部隊等から構成されます。NATOでは「女性・平和・安全保障」に関する政策や「行動計画」が存在し、これらに基づき、NATOの全てのレベル（垂直的）及び全ての業務（水平的）への「ジェンダー視点」の反映を追求しており、軍事に関わる機関としては国際的にも先進的な取組みを推進しています。

NATOの問題認識の背景には、国際社会が直面してきた「紛争下の性的暴力」があります。ここには「兵器としてのレイプ」も含まれ、現在もなお人間の安全保障上喫緊の課題となっています。NATOは、NATO主導の作戦を通じて、ジェンダーの視点を政策や作戦に反映することが作戦地域の安定化や現地女性等の安全保障に資することを、経験として学んできました。そして、これらの経験を蓄積し、必要な政策がNATOのあらゆる作戦や活動に反映されるよう「行動計画」を作成して各種施策を推進しているというわけです。

紛争下の性的暴力の課題に対し、安倍総理大臣は14年9月の国連総会において、日本は国際社会の先頭に立ってリードしていく、と宣言しており、この分野における日本とNATOの方向性は一致しています。NATO本部ではアジア系は珍しく、筆者は周囲の人に不思議な顔をされることもあります。紛争下の性的暴力を許さない国である日本から来たのだと胸を張って勤務しています。

ところで、ジェンダー関連の職務というと、女性職員ばかりというイメージではないでしょうか。でも、NATOでは多くの男性職員が携わっています。例えば、NATO国際軍事局のジェンダーアドバイザーは男性（スペイン陸軍中佐）です。NATO本部内の「ジェンダータスクフォース」という部署横断的な組織では、関係者の4割近くが男性です。彼らはごく自然にそのポストに就いて、各種課題に熱意をもって当たっています。もちろん最初は戸惑ったけど、と付け加えつつ。NATOではそれだけジェンダーに関する認識が浸透していると感じますし、女性職員の側も「女性vs男性」という対立構図になることなく、ごく自然に男性と女性が協力している、という印象を受けています。

今年は国連安保理決議1325号から15周年の節目の年にあたり、世界各地で多くの関連イベントが予定されており、筆者のオフィスも忙しくなりそうです。今後、これらについても報告していきたいと思います。

内閣府男女共同参画局 共同参画より

NATO事務総長特別代表（女性、平和、安全保障担当） 補佐官 栗田千寿

### [編集後記]

新年度が始まってあっという間に、2か月が過ぎようとしています。大切な時間が駆け足で過ぎていきます。後悔しない生き方をしなくては……。 S・I

編集発行：ウィルあいち交流ネット

編集協力：(公財)あいち男女共同参画財団